

記載例 2（退職等）一括徴収…給与支払者が未徴収税額を給与または退職手当等からまとめて徴収する場合

市提出用

令和 6 年度課税用

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動のあった月の翌月の10日までに提出してください。

宛先 安城市長		〒 446-8501 所在地又は住所 〇〇市××町18番		特別徴収義務者 指 定 番 号 600109		宛 名 番 号 003	
令和 7 年 1 月 6 日 提出		名称又は氏名 (株) 西三河		連 絡 先 部 署 経理課 給与係		担 当 者 鈴木 花子	
法人番号又は個人番号		1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4		電 話 0566-76-1111			
給与所得者（異動者）				徴収済税額		未徴収税額	
フリガナ ミカワ ジロウ				6 月分		1 月分	
氏 名 三河 二郎				12 月分		5 月分	
生年月日 S63.3.10 旧姓				令和 6 年 12 月 20 日		1 退職	
受給者番号 001-0523						2 転勤	
個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3						3 休職	
異動後の住所 (現住所) 刈谷市桜町 1 丁目 1 5 0 番地						4 長期欠勤	
電 話 090 - 1234 - 5678						5 死亡	
特別徴収税額 (年税額) 120,000 円				特別徴収税額 (年税額) 70,000 円		6 税額が給与額より大きい	
				未徴収税額 (ウ) = (ア) - (イ) 50,000 円		7 給与の支払が不定期	
						8 会社解散	
						退職した年の 1 月 1 日から退職時までの給与支払額 円	
						控除社会 保険料額 円	

未徴収税額(ウ)の徴収方法を A B C から選択し該当記号を○印で囲み、必要事項を記入してください。

A 転勤・特別徴収継続
新たな特別徴収義務者が
給与から徴収する場合

所在地
〒
フリガナ
名称又は氏名
法人番号
連絡先
部署
電話
担当者

該当項目を
○印で囲む

印刷後
該当項目を
○印で囲む

記入しない

月割額 円を 月分から納入します
(月 日納期分)

新特別徴収義務者指定番号
新受給者番号

特別徴収税額の納入方法
該当する納入方法にシをうってください

納入書使用
納入書不使用 (金融機関の納入サービス利用)

B 一括徴収
退職時の特別徴収義務者が
給与から徴収する場合

一括徴収した税額は 1 月分とあわせて納入します。
(2 月 10 日納期分)

使用する納入書等
の月分を記入

12月31日

記入しない

1 異動が12月31日以前で、申出があったため
(12 月 20 日 申出)
2 異動が1月1日以降で、特別徴収継続の希望がない
ため

一括徴収の理由
(○印で囲んで
ください。)

一括徴収税額
(ウ)の金額
円

●1月1日から4月30日までに退職等される方については、一括徴収が義務づけられています。

C 普通徴収
個人で納付する場合

一括徴収しない場合は、次のいずれかを○印で囲んで
記入しない

1 5月31日までに支払うべき給与又は退職手当の額が未
徴収税額以下のため

2 死亡による退職のため

一括徴収の理由が「1」の場合は、
異動者の確認印を押印